

平成30年度 自己評価及び学校関係者評価書

平成31年3月13日
市立札幌大通高等学校

本校の重点目標

- (1) 自己を高め、目標に向かって、自己実現を図ることができる生徒を育てる。
- (2) 意欲・熱意を持って主体的に学習し、興味・関心を深く探究する生徒を育てる。
- (3) 主体的に自己の生き方や進路について探究し、様々な困難を乗り越える逞しい生徒を育てる。
- (4) 規範意識を身につけ、勤労を尊ぶ、有為な社会人として自立していける生徒を育てる。
- (5) 多様な価値観を受容し、他者を認める寛容な心を持ち、豊かな人間関係を築ける生徒を育てる。

本校の経営方針

教職員は情熱を持ち、信頼される教育者としての使命を自覚し、各種研鑽に努めるとともに、次のことを考慮した経営体制を整える。

- (1) ガイダンス機能を充実させ、HR複数担任制や小グループ担任制をとる。
- (2) スクールカウンセラーの配置と各種相談体制を整える。
- (3) インターンシップ等を積極的に導入する。
- (4) 学校行事・部活動等は、三部合同を基本とし、共通の活動時間を確保する。
- (5) 教育関連施設や家庭・地域等と連携し、双方向の協力体制を確立する。

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
総合	大通高校での学校生活に対する安心感。高校入学前と比べての人間関係の広がりや活動の変化について。(質問項目1, 2)	A	本校での生活に対しては生徒・保護者・教職員とも全体的に高い評価をしている。今後も、「生徒が安心して通える学校」としての雰囲気維持していくことが望まれる。また、入学後に友人関係の広がりや活動が積極的になってきた、という評価を保護者や生徒から得られた点は、大通高校の教育効果だと考えられる。今後も多様な生徒への柔軟な対応力を継続していく。	A	A
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって居場所、学ぶ場としての学校が拠点であることが、絶対条件ととらえられる。回答数が前年度より増え、このことがはっきり確かめられたと思う。しかしその一方で、まだ生徒の中には不安感を持っていることを認識し、さらにケアするように取り組むことが必要である。 			
学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の理解度について ・単位修得状況について ・学力の定着について ・授業のわかりやすさ ・基礎基本を定着させる学び直しについて (質問項目3, 4)	B	授業理解、単位修得に関して、生徒からの評価は3.0であるが、教員の評価は2.7であり評価に差がある。今年度アンケートを提出した生徒は、長欠を除き約90%の回答を得られた。その結果、良好な学習状況だと伺えるが、教員との数値の差は、教員側の期待値が含まれているからかと思われる。教員は「わかりやすい授業」をめざし授業を展開しているが学習習慣や学力差の広がり大きく、「進学に対応できる学力」を望む保護者も多いことから、指導内容のあり方を今後も検討し工夫していく。	A	A
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさを全員が持つことは、個人差の大きい現状からは厳しいことは察せられるが、教職員がそれぞれに工夫し・改善の意識を持って継続して取り組むことを、今後も期待しています。 ・進学・就職で求める知識が違い、進学でも大学・専門学校で求めることが違います。その点をどのように生徒の満足度を上げるかをさらに検討して工夫して欲しい。 ・「進学に対応できる学力」も無視できないが「自立できるための学力」を大切にする、そういう学校であることを保護者にも理解してもらいたい。 			

<p>キャリア・進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や校内外で学習した進路についての話を参考にする ・予備校や塾の利用 ・職場体験やインターンシップについて ・保護者の進路意識 ・進路に応じた科目設定 ・進路指導につながるキャリア教育(質問項目5, 6) 	<p>B</p>	<p>昨年度に比べインターンシップ(職場体験)についての認識は、生徒及び教員からの評価は下がった。今年度の反省(インターンシップの実施時期、実施方法など)生かし、探求学習としてキャリア教育の内容をさらに有意義なものにしていきたい。模擬試験の受け方など、進学意識を高める指導も検討していく。様々な場面で進路意識を高めるように指導を充実させたい。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>学校関係者評価者による意見</p>		<p>・引き続き指導の充実を期待する。</p>			
<p>多様な支援と外部連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員との関わり ・教員以外の大人(カウンセラー等)との関わり ・保護者の学校運営への参加 ・生徒へのサポート体制 ・生徒の関する教員間での情報共有 ・カウンセラーと学校の連携(質問項目7, 8) 	<p>B</p>	<p>教員との関わり、カウンセラーとの関わりについて三者とも比較的良い評価をしていることから、「連携・支援」に関して、目的に達していると考えられる。特に教員間の情報共有、カウンセラーとの連携については好ましい結果が現れており、継続が望まれる。ドリープレイスの定着効果も出ている。保護者との関係性をさらに深める方策を検討していきたい。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>学校関係者評価者による意見</p>		<p>・これまでの取組の上に小さな改善をされていて素晴らしい。教員以外の人との関わりの中から学ぶ・協働することをサポートされながら生徒自身も感じ取っている。 ・PTA・振興会の積極的な学校参加が必要と考えます。ドリープレイス・ドリーサポート倶楽部を有効に活用して行くとともに、保護者への個別相談対応に実績のある活動協会等との連携を強化して欲しい。</p>			
<p>生徒指導・特別教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人間的な成長 ・大人への信頼 ・学校生活への期待 ・基本的なマナー・礼儀の定着 ・諸活動を通しての生徒の成長(質問項目9, 10) 	<p>B</p>	<p>「伸び伸びと学校生活を送って欲しい」という保護者の思いに対し、生徒は「自分の周りには、困ったことや悩み事があるときに相談できる大人がいる」と感じている。今後も、適切な生活指導、生徒指導、特別活動を実践し、生徒の自己有用感が向上するよう、今後も、生徒理解に基づいた大通高校らしい社会に開かれた教育活動を継続する。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>学校関係者評価者による意見</p>		<p>・子供の成長を保護者が高く評価している。生徒が周囲の大人への信頼感を高めてきていることは、見守る関係者としては、とても嬉しく感じる。 ・達成状況は、A評価でも良いのではないかな。</p>			
<p>大通高校として評価を受けて今後の課題</p>		<p>A評価の項目については、今後も活動を継続していくべきだと考える。昨年度B評価の項目であった「学習」「キャリア・進路指導」については、今年度もB評価ではあるが、今年度は改善が進んだと評価したい。「キャリア教育」については、新たな取り組みに着手する予定であり、今年度までの取組を整理して次年度につなげて行きたい。「学習」に関しては学力差の大きな集団への指導方法をさらに研鑽していかなければならない。保護者との関係性を深め、教育活動の様々な場面を通し生徒の自己有用感を高めて行きたいと考える。</p>			

<評価> A:よく達成されている B:ほぼ達成されているが改善も必要 C:不十分である